

平成24年度学力向上に向けた取組

函館市立 白尻中 学校 学級数 4

視点1：アプローチの視点に基づいた、「組織的」で「つながり」（学びの連続性・学校内外の連携）をもった取組

重点教育目標

心豊かに生き生きと活動する生徒の育成

A 各教科・領域等における系統性や、他の教科・領域等との関連に配慮する

B 長期的な見通しをもって、学習内容を確実に定着させる

C 校内研究の進め方を見直す

D 授業公開や外部への公開・発信を生かす

取組の概要

- 1 取組のきっかけ
日頃の生徒の様子や全国学力・学習状況調査の結果から、学習内容の定着が十分でないと考え、取り組むこととした。
- 2 取組の位置付け
教務部（特に研究係）が中心となり全体の協力を得ながら進めている。
- 3 取組の方法
 - 学習意識調査
学習状況調査を基にした内容を他学年にも広げ全校生徒を対象に実施している。結果を学校通信等で公表し、家庭への周知・協力を図る。（以下の取組へ）
 - 「家庭学習の手引き」を作成・生徒に配布し、指導を行っている。
 - 家庭学習時間の調査
学習委員会の活動として調査を行っており、今年度は担任が内容を把握できるようにし改善した。現状について担任が評価することで家庭学習の改善を図るとともに、学級通信などで家庭に周知し、保護者の協力を願う。
 - チャレンジテストの活用及びトライやるウィークへの参加
 - 習熟度別授業の活用（補充，発展）
 - 放課後や長期休業を活用した補充学習
欠席した生徒や学力が伸び悩んでいる生徒の学力を補充するために計画的に行う。また、希望者も参加できるように対応する。
 - 家庭学習の出し方の見直し
授業→復習（→予習，授業）へとつなげるサイクルを構築できるよう各教科で検討中。
 - 授業参観，学級懇談会の回数を増加
生徒の様子や学校の取組について話し、家庭との連携を図る。
 - 小，高との連携
小学校とは授業参観の交流，地区の高校とは教科（英語・数学）部会で互いの現状について交流を図る。

取組の成果と課題等

○ 取組の成果

・ 学習意識調査

(成果) → 生活・学習の様子の変化を調査した。的確に把握することで、今後の指導にいかしていきたい。3学期にも実施し変容をとらえた。

・ 家庭学習時間の調査

(成果) → 毎日の調査活動の方法に改善を加えることで、担任が把握し指導できるようになったことから、一定の成果があった。

・ 授業参観，学級懇談会の回数の増加

(成果) → 保護者が来校する機会を増やすことで、これまで以上に学校の様子をわかってもらえることと、保護者の様子をこれまで以上に知る機会になった。

・ 小・高との連携

(成果) → 4月に入学予定の小学校2校の6年生を中学校に招き、英語の授業を行った。

生徒の状況を確認ができると同時に、小学校の外国語活動との連携も図ることにつながった。

地元の高校には参観日に訪問し、それぞれ授業を参観し卒業生の現状を把握した上で、両校の授業改善に役立てたいと考えている。

○ 教育課程検証の方法

・ 6月と2月に生徒に「生活と学習についてのアンケート」を実施した。

・ 学校評価の項目を保護者と生徒で比較できるよう出来るだけ同じ項目にし、集計結果を学校通信に掲載した。

・ 数学や国語においては、チャレンジテストトライやるウィークの結果を活用し、定着の度合いを検証した。

・ 授業評価を3学期に実施，各教科の授業改善の一助とするとともに共通項目の分析から見えてきた傾向を次年度の研究に生かすこととした。

○ 今後の課題

・ 諸調査等の結果から，生活時間帯と学習時間の関わりについて保護者との連携を図っていく。

・ 授業の工夫改善，学習の手引の改訂，家庭学習の取り組み指導などを通して生徒の学力向上に努める。